

プレイヤーライン (祈りの列)  
コナーズビル インディアナ州 アメリカ合衆国  
1953年06月

1 さあ、祈りのカードをお持ちでない方々——はい、そのまま前へ歩いて、まずこのプラットフォームのところに来て下さい。

よろしいですね。私はすぐに祈りのカードを持った方々もお呼びします。この建物の中をくまなく回り、できる限り多くの人に祈りが届くようにしたいのです。

さて、ここにおられる皆さん、今から祈りに入ってくださいますか？

これから、会堂のあちこちに並んでいる他の列の方々も順番にお呼びします。そうして、できるだけ多くの方に祈りをお届けしたいのです。

[テープ切れ]

では、ここまでの人数でいったん止めましょう。あまり長く立たせておくのは負担になりますからね。

さて皆さん…この人たちのために、私が祈っている間、あなたも心を合わせて祈ると誓ってくださる方はどれくらいおられますか？

ここにいる皆さんは信じておられますか？

神がくださったこの賜物——識別の賜物、あるいは預言的な賜物——それが本物であることを。

どうか、ただ形式的に手を挙げたりしないでください。

あなたがたも本をご覧になったでしょう。主がこの賜物を通してなされた“何万という数え切れない御業”には終わりがありません。

しかし、聞いてください。

主は私に「病人のために祈りなさい」と言われました。

それが、私の務めなのです。私は病んだ方々のために祈らなければなりません。

では——少し待ってください。

まだこれ以上、列に並ばないでください。今ここに立っている人たちのために祈り終えたら、また次のグループをお呼びします。

できる限り、多くの方のために祈りたいのです。

さて、そちらは準備はできましたか？

この列には、あまり多くの人を入れてはいけません。多すぎると、後で混乱してしまいますからね。

さて、ここに立っている皆さん——

私はあなたがたを知りませんし、お会いするのも初めてです。あなたがたは祈りのカードも持っていません。しかし、それでも——

もし私が神に祈り、あなたが信仰を持って神を信じるなら、癒していただけると信じますか？

信じていますか？

本当に信じますか？

もし“信じる”という確信がなければ、どうか無理に前に来ないでください。

信じないまま来ると、良いどころか害になります。

聖書は「行って、もう罪を犯してはならない」と言っていますね。

では、罪とは何でしょう？

罪とは“不信”のことです。

聖書ははっきり言っています——

「信じない者は、すでに罪に定められている」と。

嘘をつくこと、盗むこと、酒に酔うこと——

それらは“罪そのもの”ではありません。

それらは“不信”から生まれる“結果”——“属性”なのです。

信じるなら、そうした行いはしません。

ですから、今あなたがここに来るなら、必ず“信じて”来てください。

そうでなければ、もっと悪いものがあなたに及ぶこともあります。

ここは、ただ儀式のように、

偶像の柱に触れるような気持ちで来る場所ではありません。

では、列に立っておられる皆さん、

どうか今、すべての方が頭を垂れて、祈りに入ってください。



[www.messagehub.info](http://www.messagehub.info)

説教の語り手

ウィリアム・マリオン・ブラナム

"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就される。" 黙示録 10:7